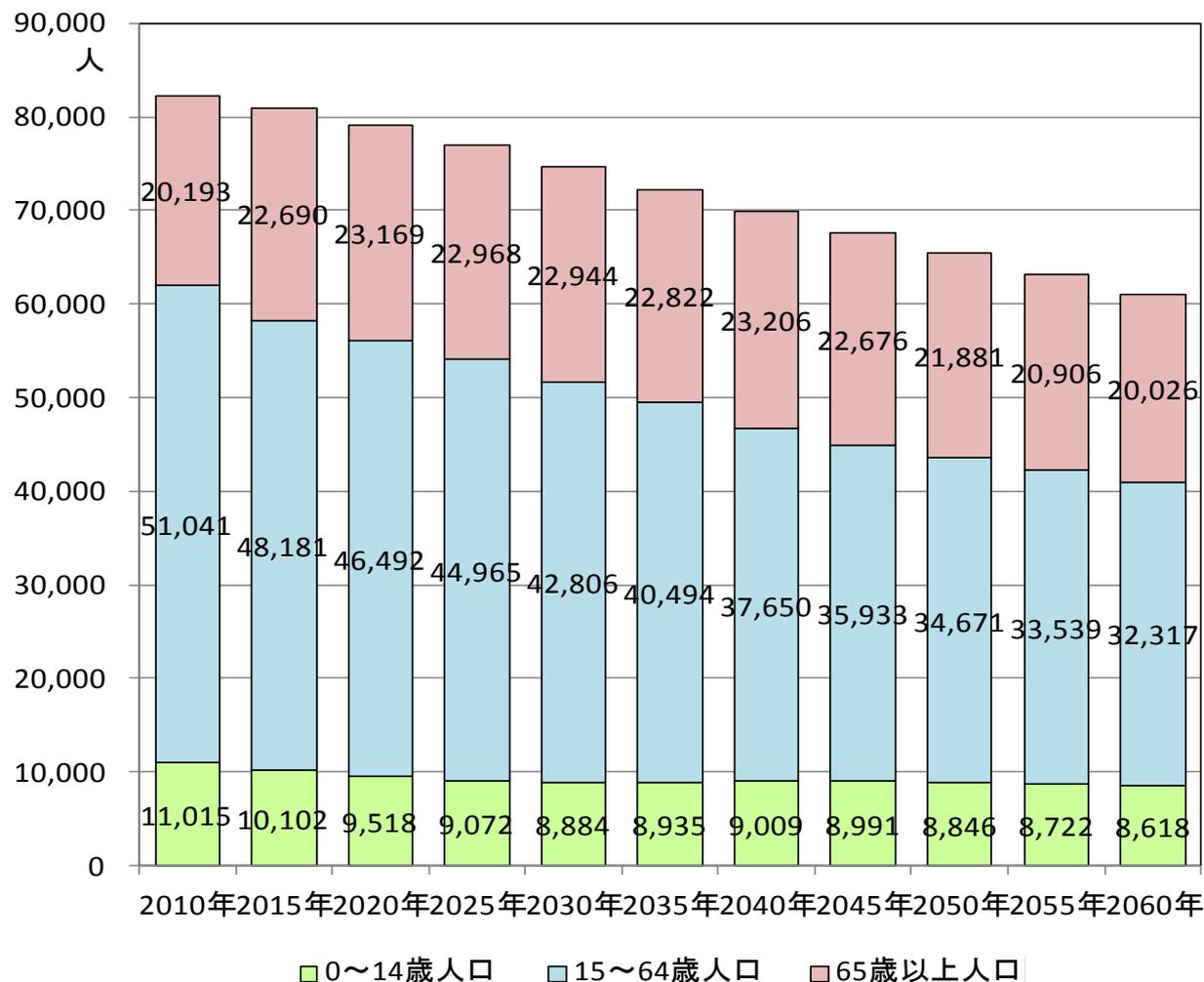


蒲郡市の現状と公共施設マネジメントの取り組み

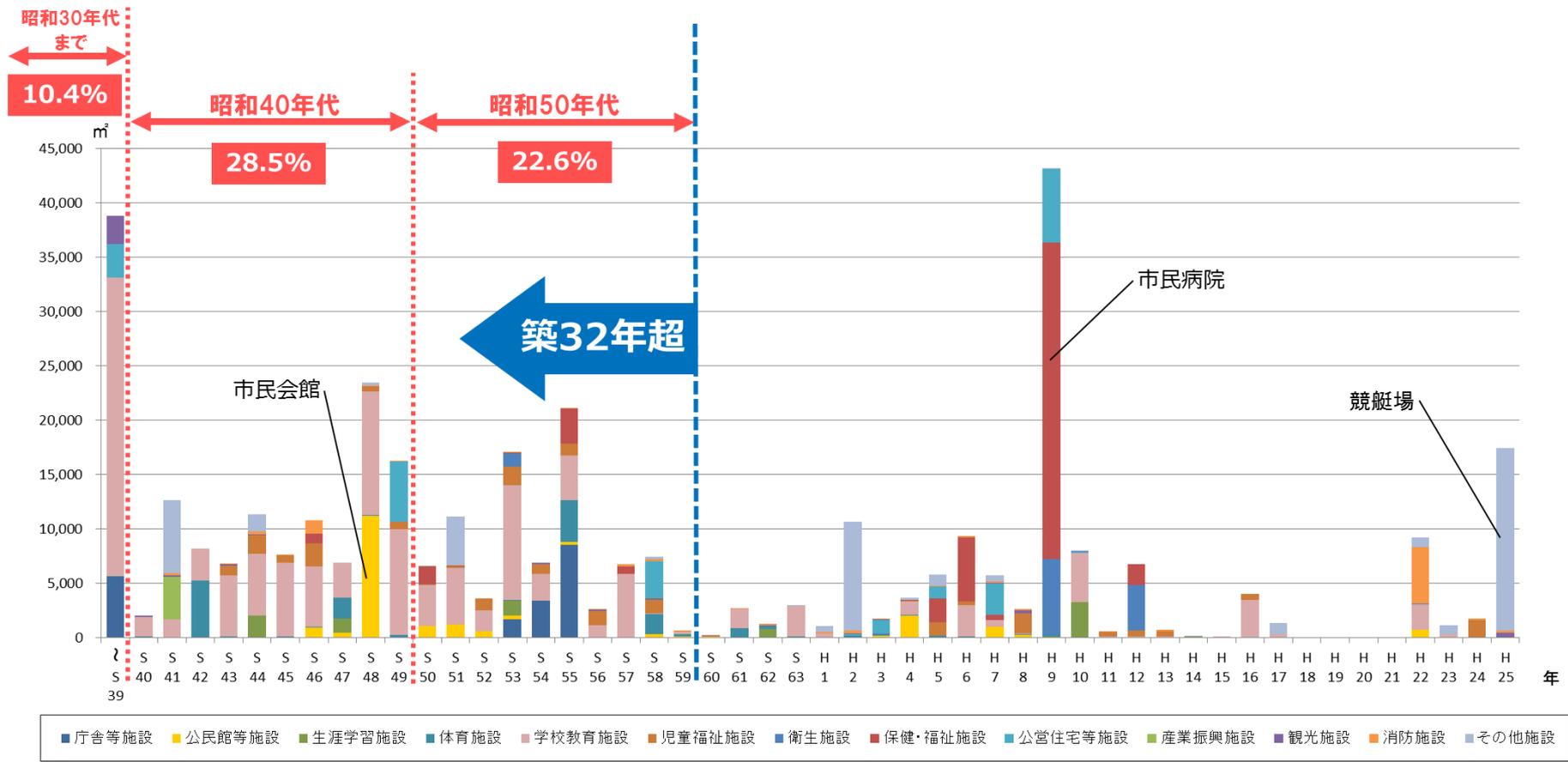
- 1 蒲郡市の現状と課題
- 2 公共施設マネジメントの取り組み

蒲郡市の人口（目標値）



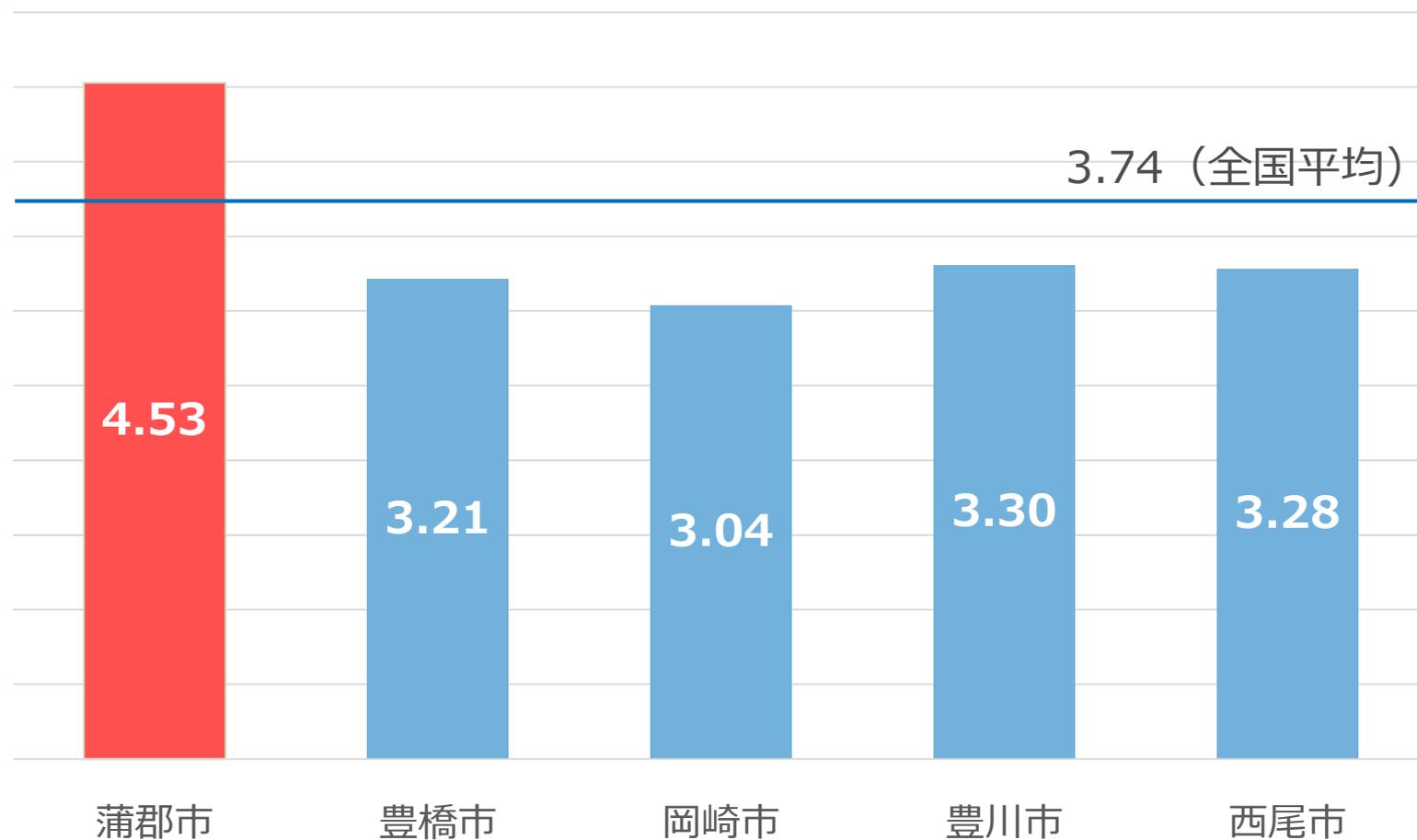
出典：蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

築年別整備状況（蒲郡市の公共施設）



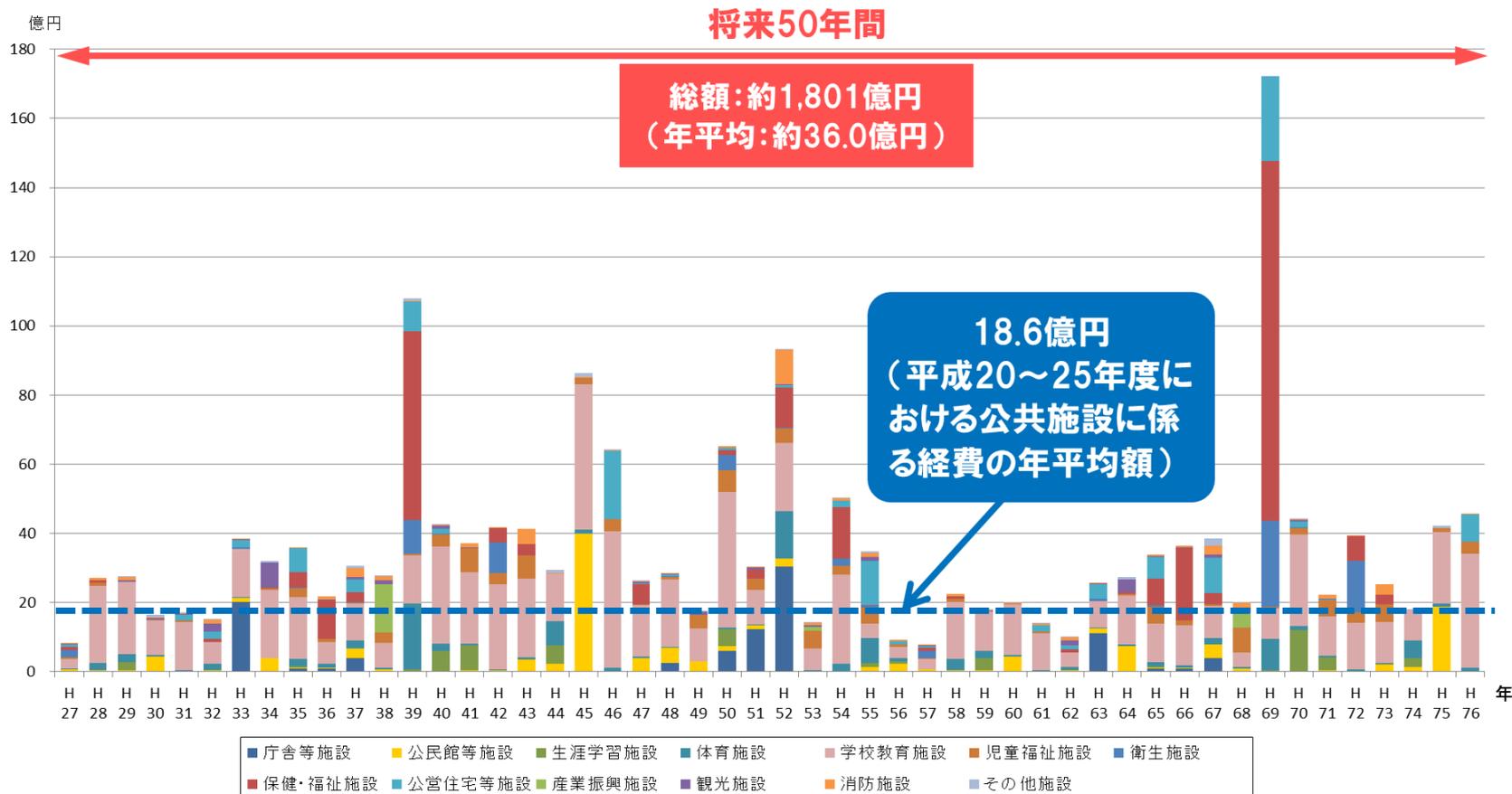
出典：平成26年度蒲郡市公共施設白書

人口1人あたり公共施設面積 (m²)



出典：平成26年度蒲郡市公共施設白書

公共施設の維持更新にかかる将来費用

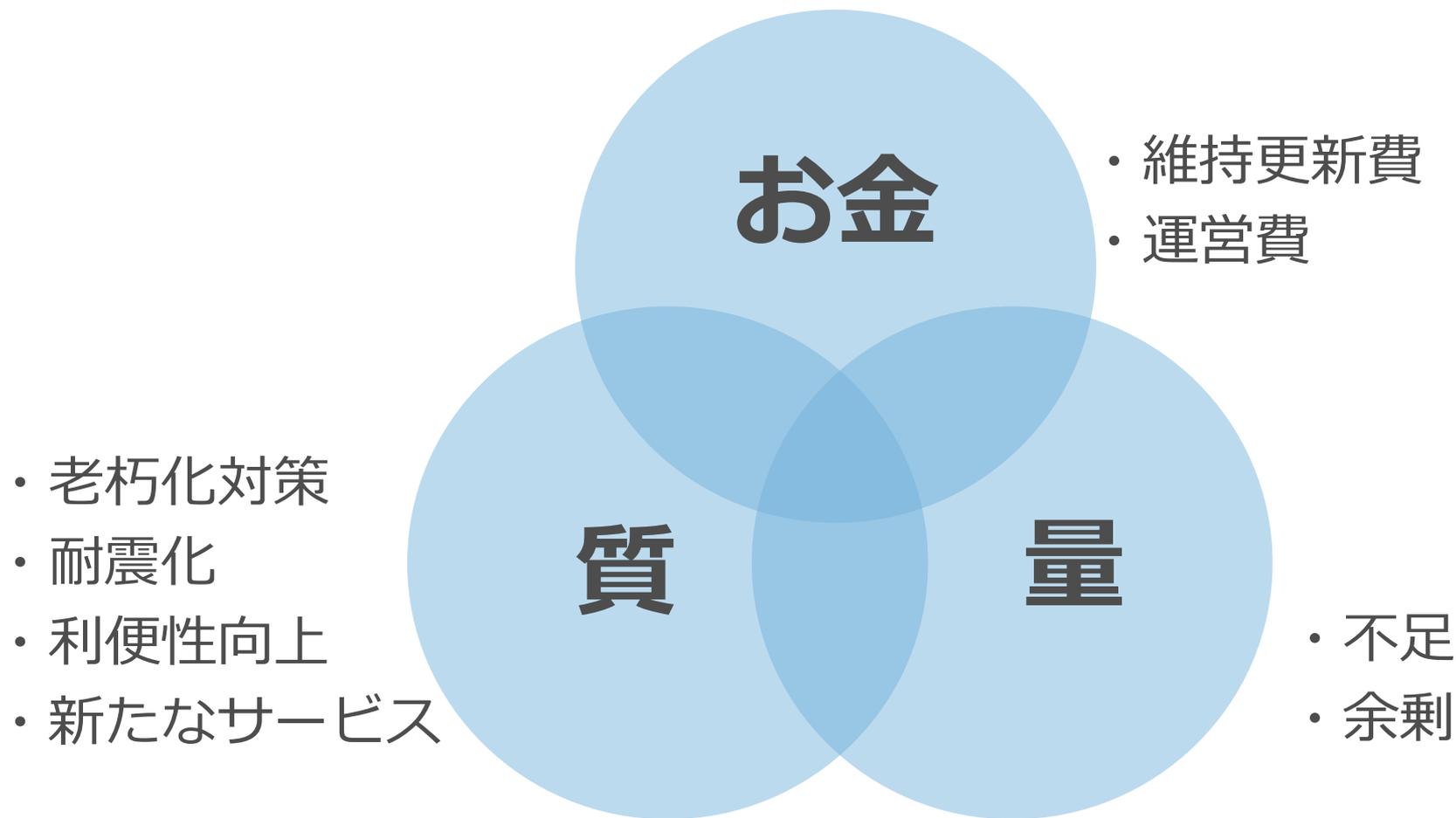


※競艇場は、別会計にて修繕・改修を行っているため、推計対象から除外している。 出典：平成26年度蒲都市公共施設白書

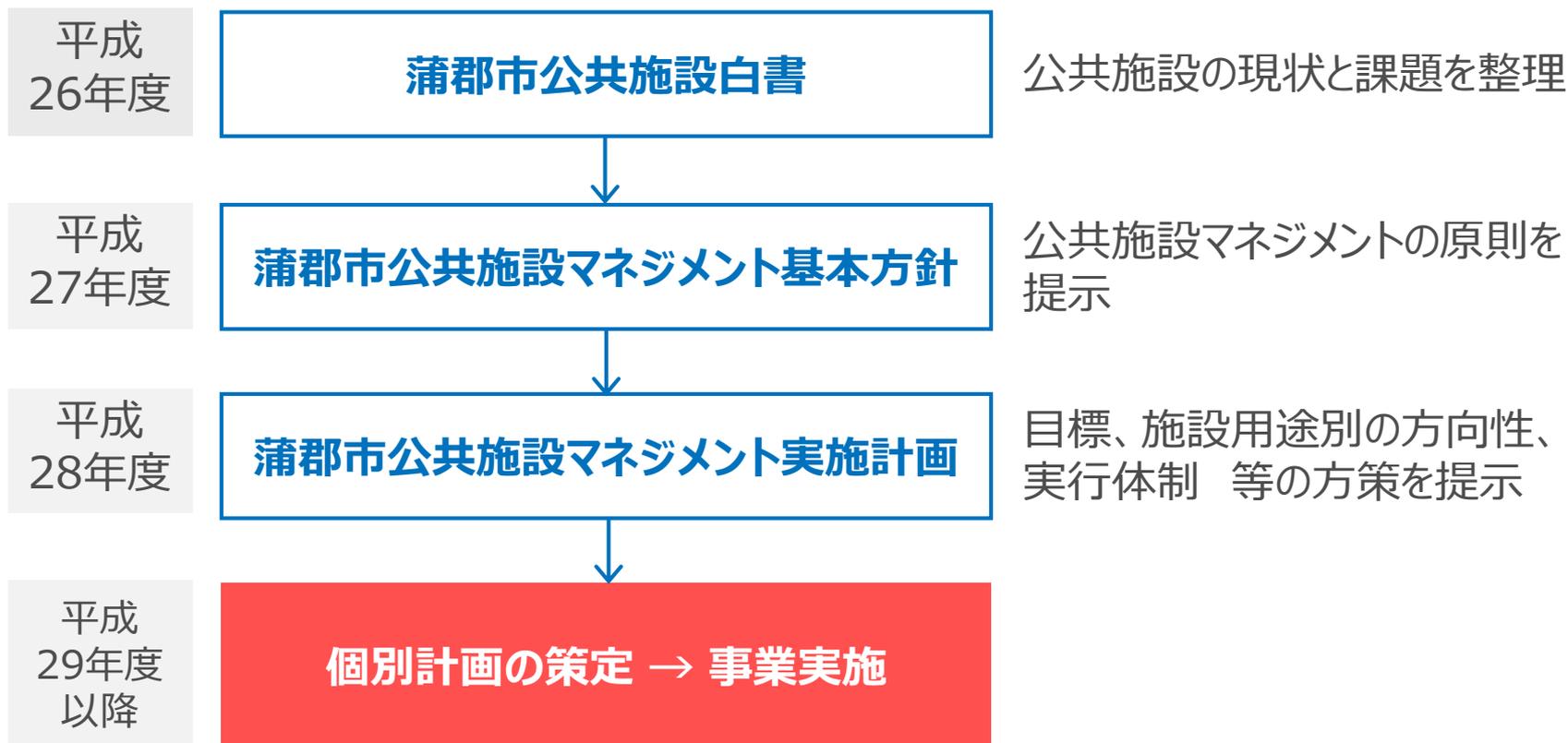
- 公共施設の維持・更新にかかる費用は、将来50年間では総額約1,801億円（年平均約36.0億円）と推計されています。10年後以降の費用が特に高く、厳しい状況になります。
- 平成25年度までの6カ年度における普通建設事業費等のうち、公共施設に係る経費は約18.6億円であり、大半の年で、公共施設の維持・更新にかかる費用が現状の公共施設に係る経費を上回っています。

- 1 蒲郡市の現状と課題
- 2 公共施設マネジメントの取り組み

公共施設マネジメントとは…

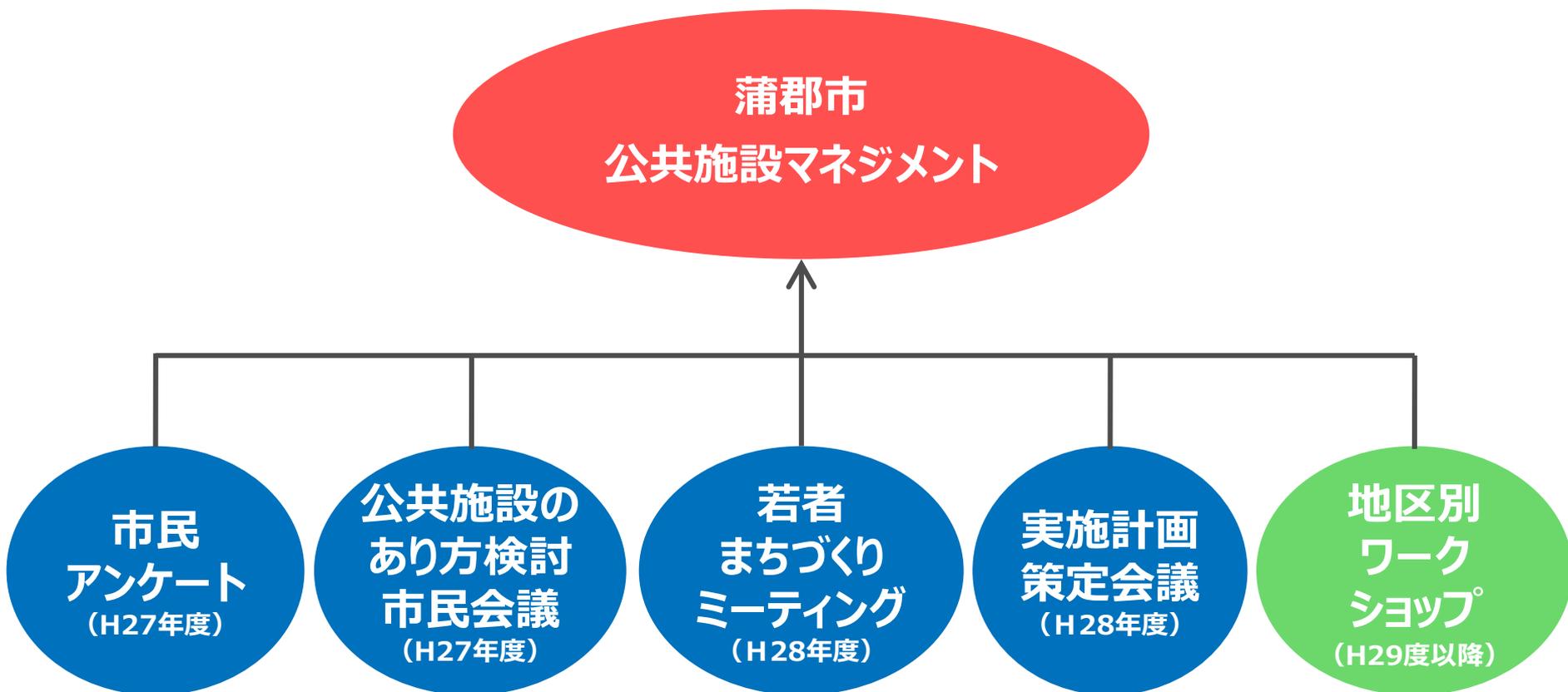


これまでと今後の取り組み



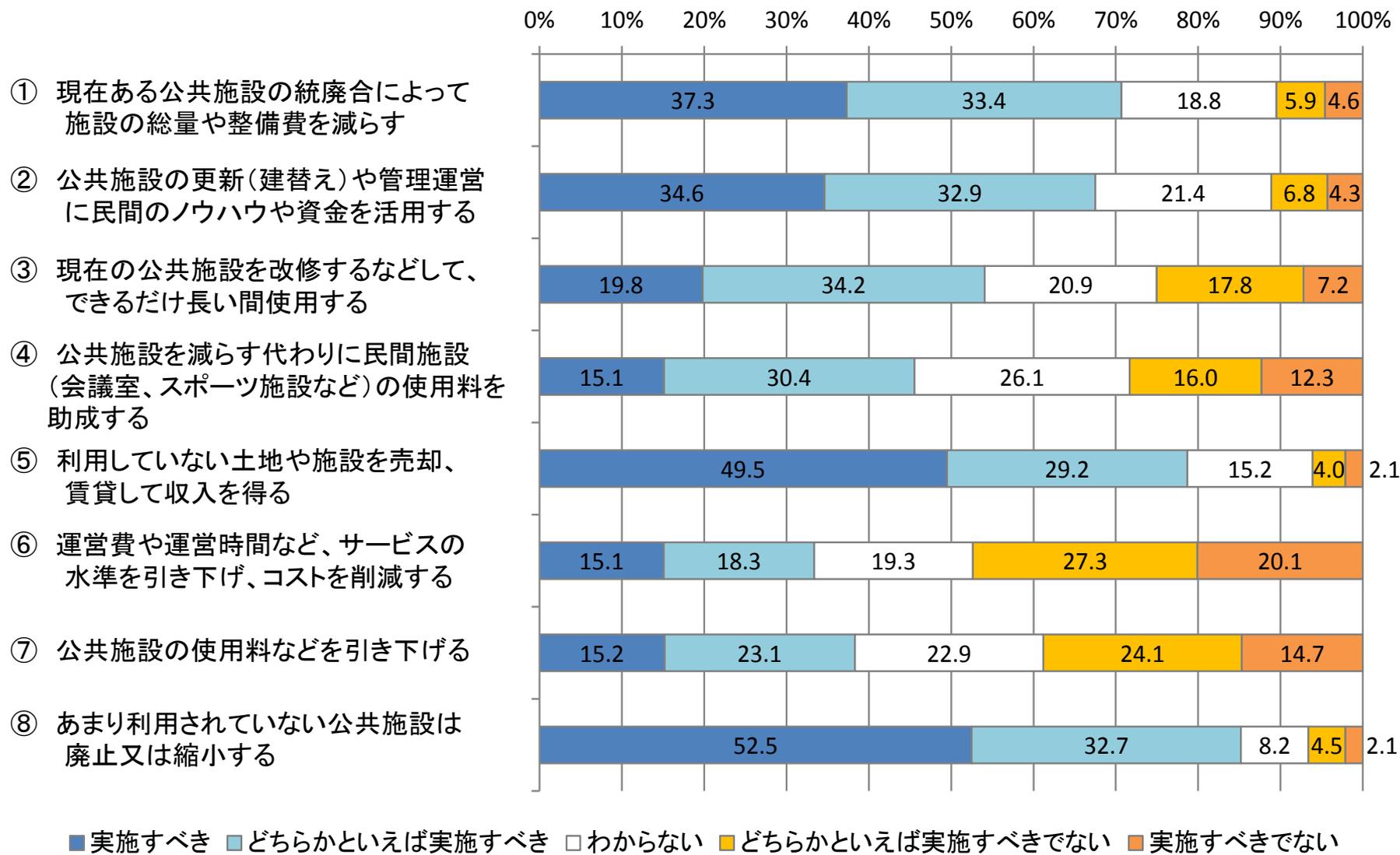
市民意見の反映

蒲郡市では、様々な方法で市民の皆様のご意見をお聴きしながら、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。



市民アンケート結果

平成27年度実施、回答数：783



市民との協働

これまで、様々な立場の方にお集まりいただき、公共施設の将来についてのご意見をいただきました。

本市は、いただいたご意見を反映させて基本方針や実施計画を策定してきました。

公共施設のあり方検討市民会議（H27年度）



若者まちづくりミーティング（H28年度）



公共施設マネジメント実施計画策定会議（H28年度）



市民会議から市長に提出された提言書（H.27.10）

観点①

財政状況や社会情勢の変化を踏まえた 「身の丈にあった」公共施設

- ・複合化・統廃合による施設保有量の適正化・運営の効率化
- ・民間との協働促進によるコスト減
- ・利用料金の適正化
- ・施設の長寿命化、計画的な修繕・改修
- ・施設規模の縮小
- ・新たな建設投資の抑制
- ・近隣自治体との連携
- ・市民による負担者としての判断

観点②

まちの魅力を高めるための 公共施設

- ・子どもや高齢者の居場所・交流づくりの推進
- ・まちの核となるエリアの魅力創出
- ・複合化による新たな効果の創出
- ・施設・地域の特性の把握
- ・地域による主体的な運営
- ・交通を踏まえた施設配置の検討（公共交通・自動車の利便性向上）
- ・ハードではなくソフトでのサービス提供
- ・市民の「安全」「安心」を守る
- ・公共施設の周知・認知度向上

観点③

公共施設マネジメントの推進方策

- ・行政のやる気・スリム化・トップマネジメント
- ・実効性のある計画策定・PDCAサイクルによる管理
- ・庁内の横断的な取組み
- ・施設の役割・機能別のマネジメント
- ・市民との協働による推進

出典：蒲郡市の公共施設のあり方に関する提言書
（平成27年10月・蒲郡市公共施設のあり方検討市民会議）

蒲郡市公共施設マネジメント基本方針（H.28.3）

市民の皆様の意見を踏まえ、公共施設マネジメントを推進するための原則を示しました。

基本方針 5つのキーワード

効率化

適正化

魅力

安全性

実行力

蒲郡市公共施設マネジメント実施計画（H.29.3）

公共施設マネジメントの取り組みを進めていくための方策を示しました。

計画期間

30年間（平成29年度から平成58年度まで）

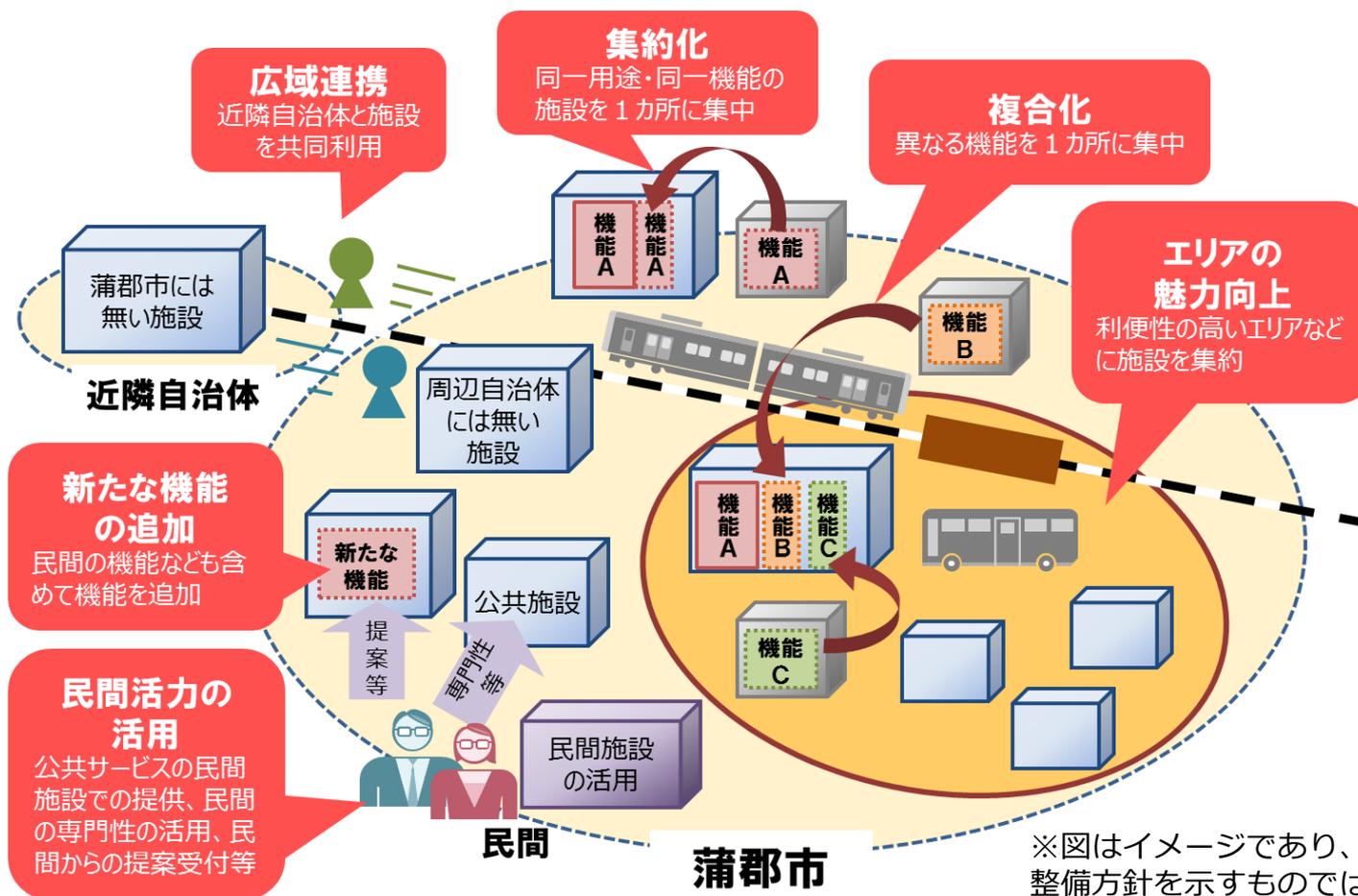
マネジメント目標

- ① 建物の更新の際に
概ね**3割**の床面積の縮減する。
- ② 保有床面積の縮減と建物の長寿命化による費用の平準化により、
523億円の維持更新費用を縮減する。

全市利用型施設についての基本的な考え方

市民会館、図書館等（市内全域の住民の皆様が主な利用者になる施設）

図：全市利用型施設の複合化等のイメージ



※図はイメージであり、具体的な施設の整備方針を示すものではありません。

地区利用型施設についての基本的な考え方

小中学校、保育園、児童館、公民館
(施設が立地する地区の住民の皆様が主な利用者になる施設)

人口減少

少子高齢化

共働き世帯の増加

単身世帯の増加

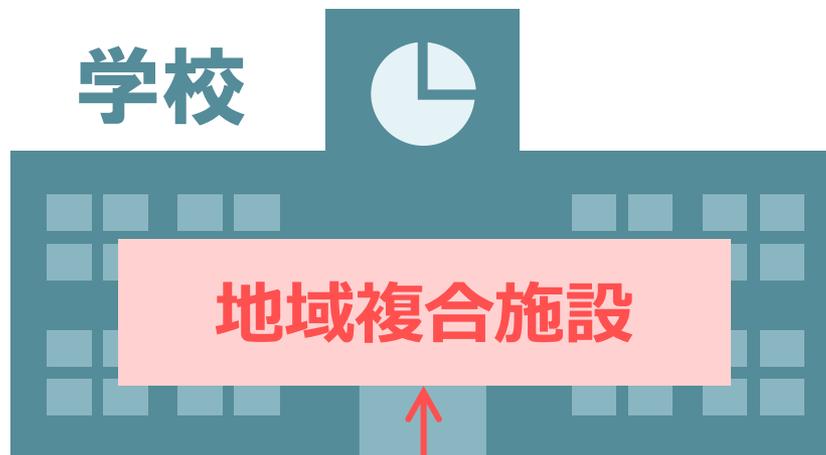


社会の変化に対応していくために、
地域で支え合い、助け合うことができる
環境の充実が求められています。



学校に多様な活動を行うことができる**交流拠点**を形成することで、コミュニティの維持・活性化を図ります。

図：地域複合施設のイメージ



学校に地域コミュニティ機能を集約して配置
(図書室、体育館、調理室、会議室等は学校と共用)

高齢者向け機能

地域での見守り
高齢者の居場所
等

多世代交流機能

児童と高齢者や
地域住民の交流
等

地域自治機能

地域防災
集会
等

子育て支援機能

放課後児童クラブ
等

事例①

埼玉県吉川市 吉川市立美南小学校

施設の配置・動線

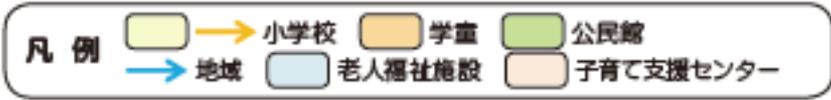
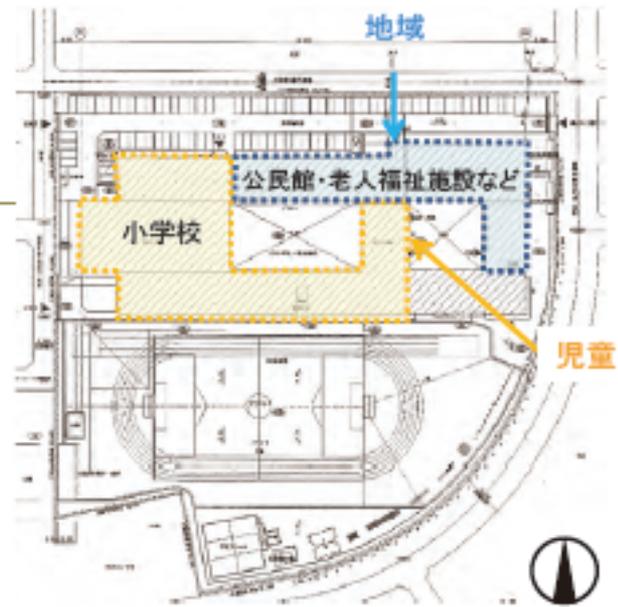
地域の利用者が利用する各施設や学校開放にも使用する特別教室は1階に配置し、普通教室や職員室などの諸室は2階以上に配置することで管理をしやすくしている。

1階の中庭は学校と地域の利用者が自然に交流できるスペースとして設置している。

<立面図>



<配置図>



【出典】

学校環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

事例① 続き

多世代が集う地域の交流拠点に

- 小学校に、乳幼児から高齢者まで様々な世代が利用する施設を複合化
- 体育館、音楽室、図工室、家庭科室等を地域に開放



学校の特別教室と公民館の間に設けられた
学校と地域が共有する中庭



子育て世代・共働き世代が増加する地域の実情に応じた施設を整備
(左：子育て支援センター、右：学童保育室)



デイサービスでは小学校の給食を提供 学校教育の活動時間外に体育館を地域に開放

【出典】

学校環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議）

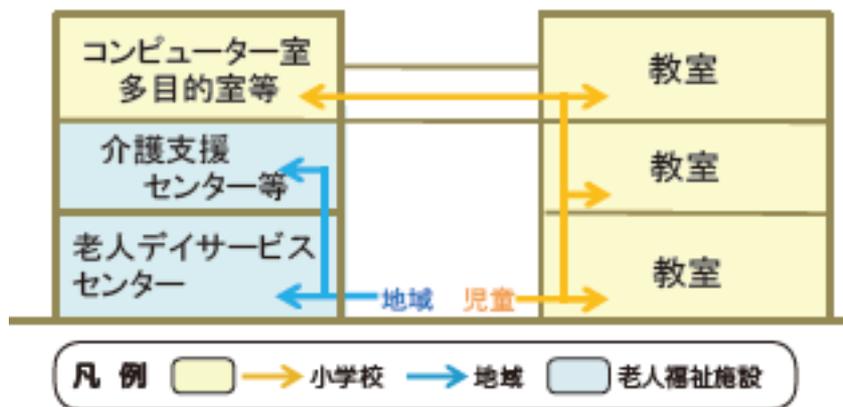
事例②

京都府宇治市 宇治市立小倉小学校

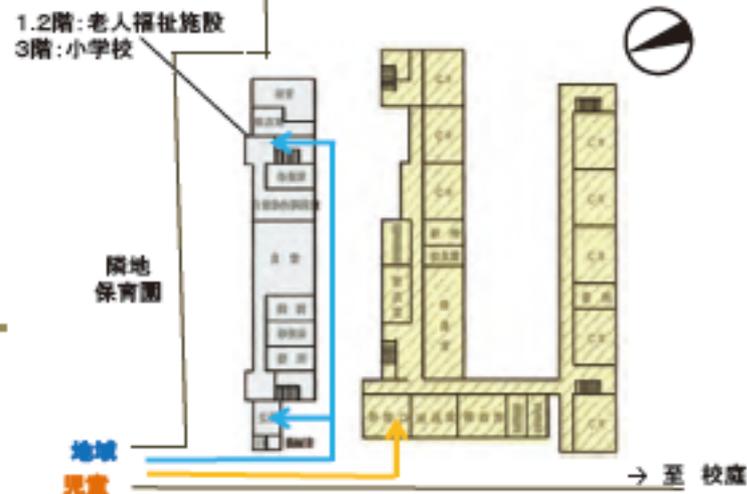
施設の配置・動線

- ・校舎は3つの棟があり、一番北側の校舎の1・2階部分を老人福祉施設に、3階部分を小学校のコンピューター室、多目的室等として改修。
- ・3階には、児童が外部や老人福祉施設を通らずに移動できる連絡通路を設置。
- ・両施設を区分して管理するために、通常時には学校と老人福祉施設をつなぐ階段は使用しておらず、非常時のみの使用としている。

<立面図>



<配置図>



【出典】

学校環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

事例② 続き

児童と高齢者の自然な交流が生まれる

- 余裕教室を改修し高齢者向け施設に転用
- 授業の一環での施設間交流のほか、日常的に身近で生活することにより世代間交流が自然に発生



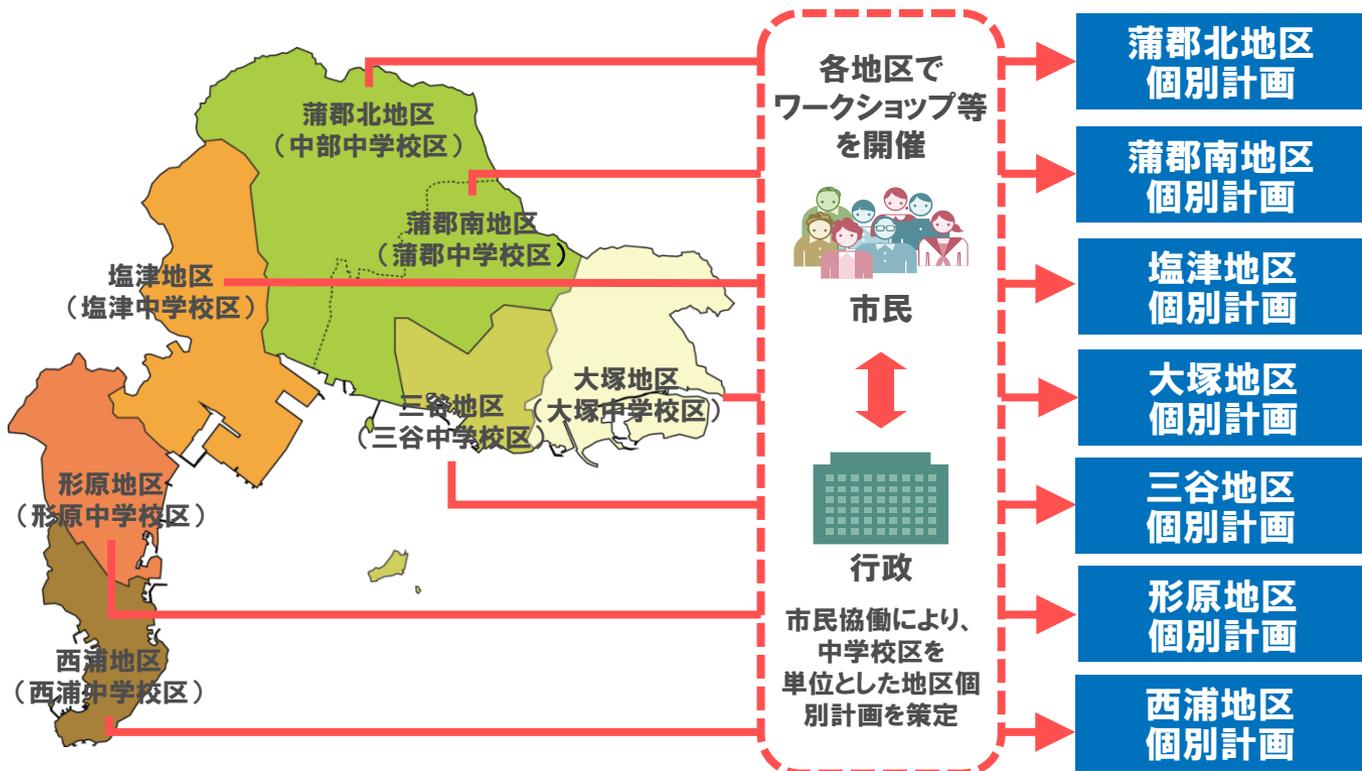
【出典】

学校環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

市民協働により地区個別計画を策定

将来の地区利用型施設の配置や活用方法を示す地区個別計画を中学校区ごとに策定します。
策定にあたっては、ワークショップ等の実施により、地区の住民の皆様の考え方・アイデアを取り入れます。

図：市民との協働による地区個別計画の策定イメージ



塩津地区の地区利用型施設は**こちらの7施設**です。

塩津小学校

塩津中学校

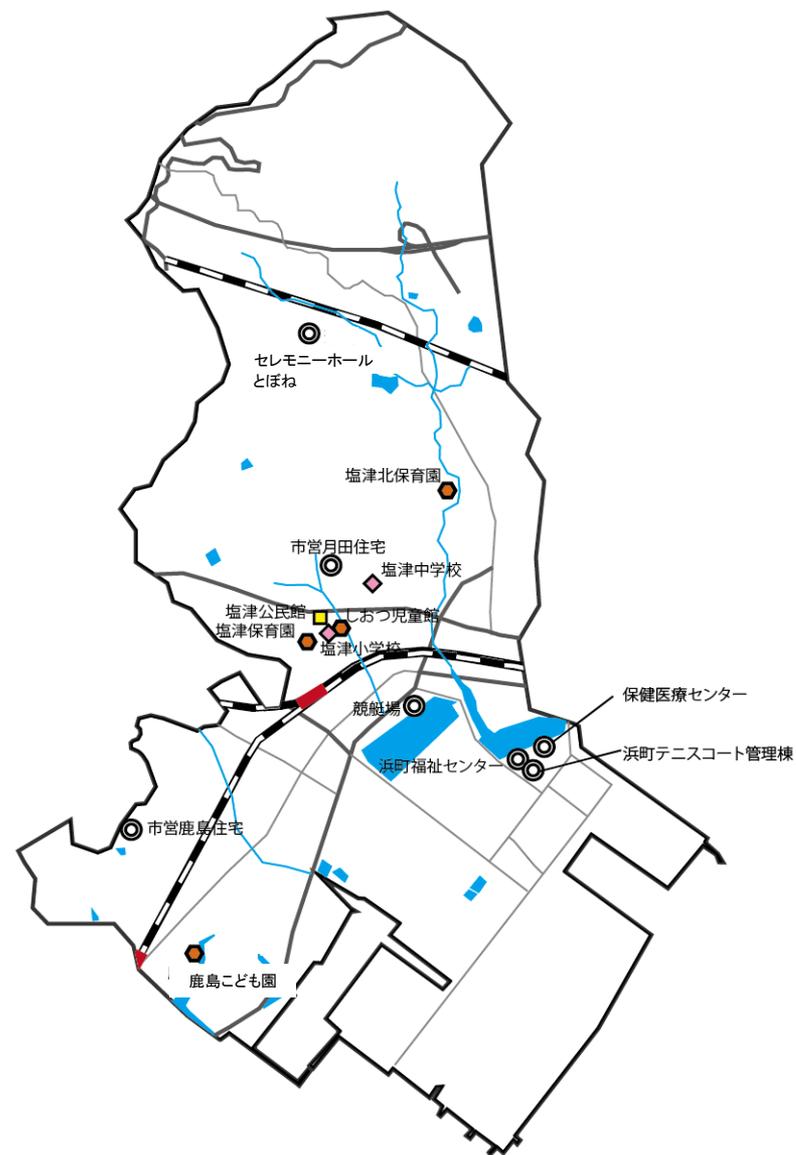
塩津北保育園

鹿島こども園（民営）

塩津保育園

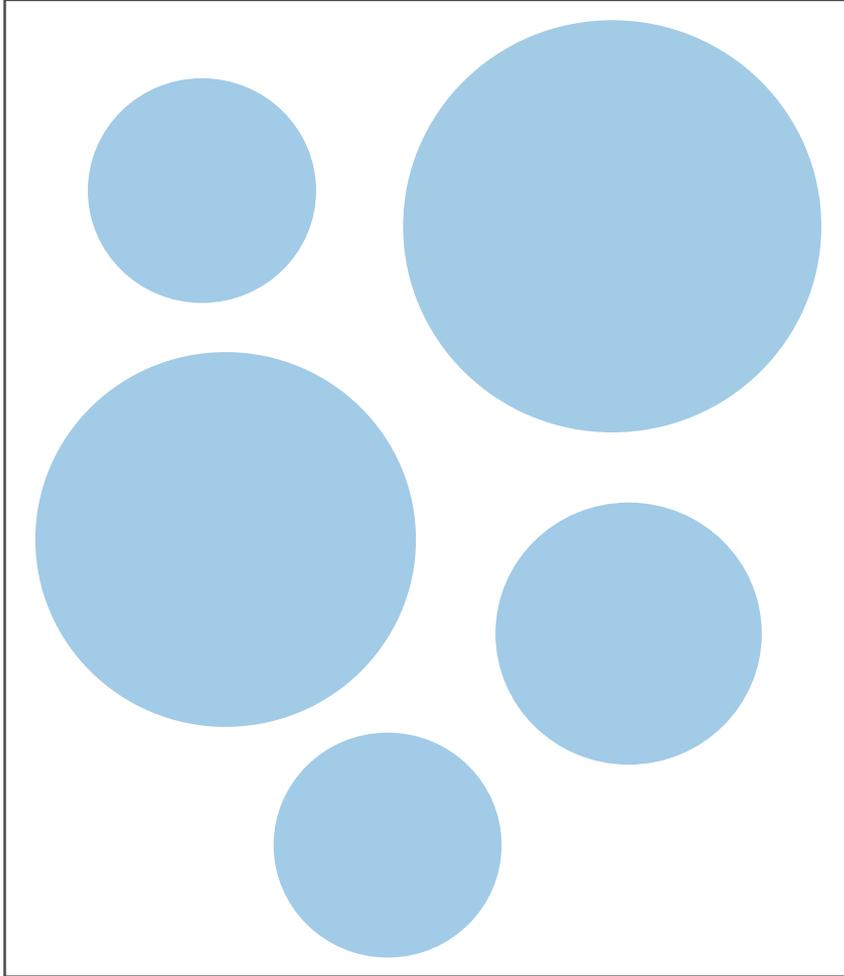
しおつ児童館

塩津公民館

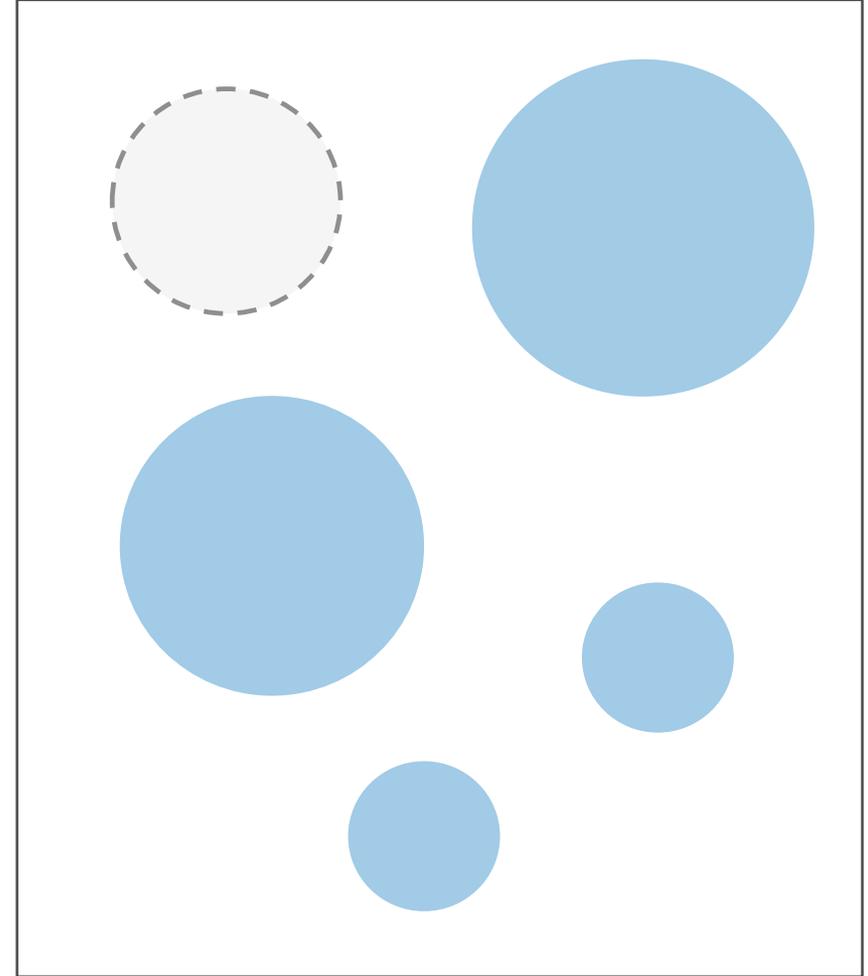


そのまま縮小すると…

現状



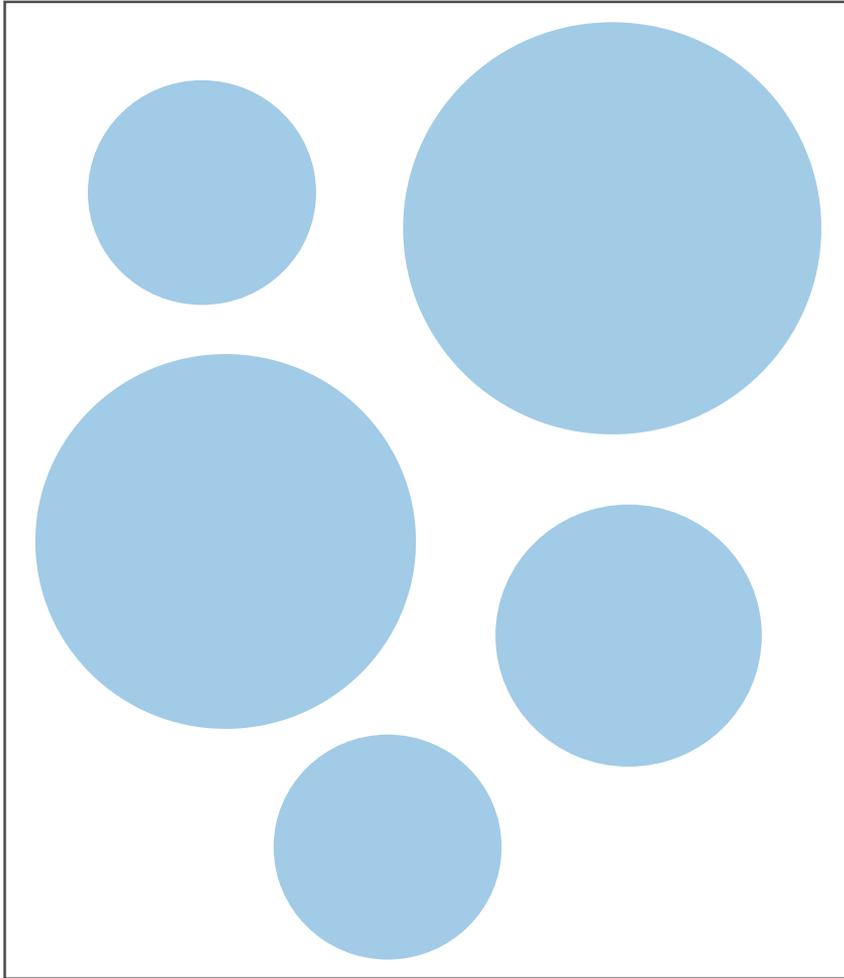
再整備後



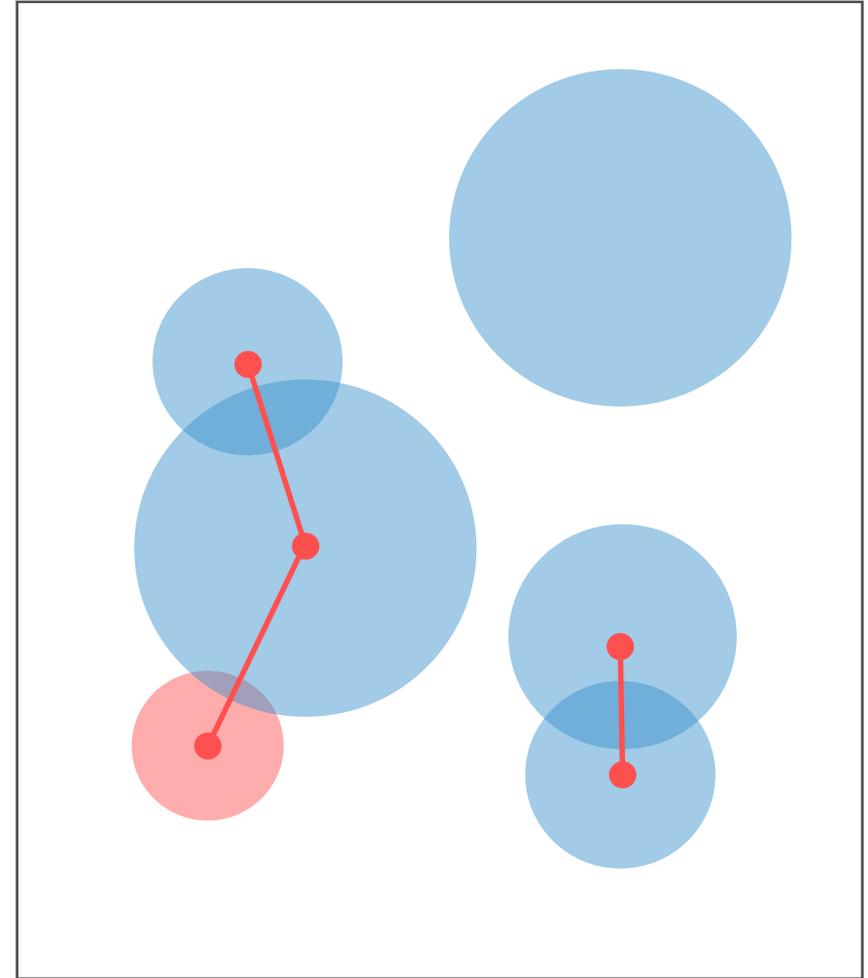
- 必要な機能が維持できない場合も
- ニーズへの対応が難しい

工夫して整備すると…

現状



再整備後



- 使い勝手が良くなる
- 地区の特性や新たなニーズに対応できる
- 効率的な運営が可能